

会報

かけはし

(題字 支部長 神山則幸)

令和 6 年 2 月 1 日

第 65 号

発行者 神山 則幸

昭和三〇年代半ばの一県立高校



副支部長 森山 征夫

昭和三十四年九月一日、私は埼玉県立 K 高校に編入学した。教室

に入ると、一角で、週刊誌ア芸能誌に見入っていた。記事の見出しは「T 高校剣道部、裏山で女子部員にお酌をさせて酒盛り」とあった。

始業式も終わり放課になると、担任に宿直室に連れていかれた。どこかの新聞記者がいて、今朝の週刊誌の記事についていくつか質問してきた。私は、今日、この学校に入ったばかりで、何もわからないから「わかりません。」と答えるのみだ。すぐに放免となった。

すごい企みであったと思う。

私は、高校一年の夏休みに新潟県から埼玉県に転居した。当時、日本の高校には転校という制度はなく、高校を移るには編入試験を

受けて移らなければならなかった。

新潟県では普通科高校は小学区制で、普通科志望は任んでいる学区の一枚に限られていて、選択の余地はなかった。全国どこでもそうだろうと勝手に思っ T 高校に入った。

私が編入学した T 高校は当時、男女の生徒はいるが教室は別の状態の男女併学であった。

学校事件備忘録



学校は安心安全な所である。しかし、時には思わぬ災難が起こる。

二十数年前の学校事件を振り返る。一、夕刻から何者かが侵入し、黒板に落書きをする事件が相次いだ。

それが、二年になったときに、突然共学になった。三年生は別学のまま。修学旅行も男女別に実施されていた。一年生は、始めから共学である。私たちの学年だけ急に共学になったため、てんやわんやの大騒ぎ状態であった。生徒がそんな状態であったが、女性担任はこれまで男子を教えたことがなかったようだ。男子の多くは勉強が嫌いで、高校に来たくなかったが親が行けというので来たという連中なのだから、女性の先生は苦勞されたと思う。

二年が終わった春休みに修学旅行が実施された。T 高校始まって以来の男女一緒の修学旅行であった。生徒はずいぶん楽しんだが、先生方はどんな気持ちで過ごされたことか。

川口班 岡田 賢治

警戒していた矢先、教室のストーブの石油を床に撒き火をつける事件が発生。教員が消火し、床を焦がす程度で済んだ。発見が遅かったら大火事になるところだった。

そこで視界を遮っていた教室棟前のカイズカイブキ二十数本を伐採し見通しを良くした。地区の長老

からお叱りの電話。開校時に学校への思いや願いを込めて植えた樹であることを改めて知った。

二、職員会議中に誰もいない四階の廊下にあった体育袋からブルマーだけ四十着余が盗難。汚れたブルマーを売る店があることを聞き愕然とした。女兒も半パンにした。

三、うさぎ殺傷事件が本市にも波及し、本校でも日頃から警戒していた。八月末の深夜、見に行つた。西門脇に不審車があり、男が二人いた。門を乗り越えようとしたら服を引っぱる者がいる。「何をするんだ!」

「あんたこそ、何をするんだ。」
「私はこの者だ。」
「それを証明するものを見せろ。」

門の前で押し問答。スクープ狙いの某テレビ局関係者だった。

四、一階廊下が川のような。地下の古い管が破裂し噴き出ている。学校急増期の手抜き工事の災難である。児童は不自由な二週間の避難生活を余儀なくされた。

以上、児童に直接的な危害がなかったにせよ、不安を抱かせたことは否めない。学校管理者として日常の管理・監督、点検・修理の大切さを痛感した日々であった。

会員短信

私の趣味

川口班 福島 章雄

定年退職を迎える頃考えた。これからは好きなことをして悠々自適に過ごそうと。しかしハタと困った。私の趣味って何だ？

ゴルフはやったことがない。盆栽や庭いじりには庭がない。読書もすぐに眠くなる。楽器を弾くには指が動かない。絵を描くにも絵心がない。あれこれ考えているうちに年金がまだ出ないことに気が付いた。わずかばかりの職を得て七年、今も続けている。結局、仕事が私の趣味なのか？

本当の退職はまだ先のようなのだ。

「羨」の是非

藤・戸田班 富樫 重郎

市内の施設で、五・六年生に算数を教えている。五年生のテスト監督の折、驚愕の現実を目にした。何と、誰一人美しく正しい鉛筆の持ち方をしていないのだ！六年生も同じ状況！ユニークで个性的といえは聞こえはいいが・・・。私は違和感を覚える。有名な某落語家は箸の持ち方が奇妙だけど、

自覚しているだけに好感が持てる。とはいえ、鉛筆や箸の美しく正しい持ち方などは時代が変われど、不易の領域と考えるがいかかか。私のそれらの持ち方は当然◎！

音楽の力

草加班 小櫃 真人

地元で子どもたちの合唱活動にかれこれ三十五年ほど関わっている。純粹無垢な歌声に心が洗われる。コロナ禍にあっても、音楽の力を信じ、目を輝かせて歌う子どもたちの姿があった。その姿に数多くの聴衆が涙した。私自身、音楽に真摯に向き合うことの大切さを教えられ、今日に至っている。声を合わせることの楽しさ、響き合う美しさを多くの子どもたちに味わってほしいと願う。子どもたちとの合唱を通じた繋がりは、しばらく続きそうである。

大人だってほめられれば

川口班 滝澤 榮則

昨年4月、私は教育とは無縁の民間のアルバイトを始めました。担当者は新人の私に丁寧な教えてくれました。でも私は徐々に教わる立場になつて気づきました。私なりに努力しても、大人社会では当たり前なのか、担当者は全く

認めてくれないのです。わが身を振り返り、お前は人をほめ、感謝して、意欲をもつてもらっているかと自問することができました。

仕事に慣れず、結局私は2か月でやめてしまいました。でも貴重な経験となりました。

ダッシュからスローへ

朝霞班 岩澤 千恵子

二年前からゲストティーチャーとして小学校で活動しています。かつて同僚から『ダッシュ岩澤』と呼ばれ、四階の教室まで一段飛ばしで階段を駆け上っていました。子ども達とのやり取りが楽しい毎日でした。今も、子ども達の前立つと、あの頃の気持ちが不思議とよみがえり、ワクワクしています。そして、何とも幸せな気持ちで、一段一段ゆっくりと階段を下りています。これからも、『ダッシュ』から『スロー岩澤』として活動し続けたいと考えています。

教員養成に携わって

川口班 山田 晋治

退職して早四年。現在は縁あって淑徳大学教育学部で小学校教員を目指す学生たちの指導に携わっています。お陰様で先日、教育学部開設十周年記念講演会を挙行し

家庭や地域社会との連携・協働による教育の推進

和光市教育委員会教育長 石川 毅



新型コロナウイルス

五類に移行した

今年度、教育活動はコロナ禍以前に戻ってきているかに見えますが、実際は学校の創意工夫によって新たな教育活動が再構築されています。そんな中で久しぶりに開催された入場制限のない運動会。保護者に見守られた子供たちの満ち足りた表情、練習の成果を前に拍手と満面の笑顔。その様子を目の当たりにして、当たり前のことですが、子供は、家庭や地域社会と学校とが手を携えて育むものということを改めて認識する機会となりました。

本市では、これまでも家庭や地域社会との連携・協働による教育の推進に力を注いできました。が、社会に開かれた教育課程の具現化、地域人材・資源の有効活用、様々な地域を支える組織を担う人材の確保など課題は山積しています。こうした現状を踏まえ、本市

ました。卒業生たちが活躍してきている話を耳にするたびに嬉しい気持ちも味わっています。一方本学に限らず年々教員養成系学部受験生が減少している現状…。教職を敬遠する風潮を何とか変えられないものかと願うばかり…。せめて教職の魅力をポジティブに発信し続けたいと思っています。

五十二年ぶりの挑戦

草加班 橋本 政幸

退職して六年が過ぎ今も教育委員会教育指導員の仕事をさせていただいています。教育現場はいつも大変ですが、子どもたちも先生方も生き生きと活躍できる場所であって欲しいと願っています。

余暇では趣味の天体写真撮影を通して多くの新しい仲間と出会うことが出来ました。学ぶことは多くあり良い写真を撮るのは大変ですが、群馬県や千葉県に出かけて徹夜して楽しんでいきます。中学三年生で天文雑誌に掲載された快挙から早五十一年、二度目の入選を狙います。

面をついて

川口班 梅野 博

再任用で初任者指導として四年目を迎えますが、再任用の初年度に十年以上やめていた剣道を再開

しました。それは、以前私の尊敬している先生から「梅野君、自分のもっている知識・技能を社会のため、人のために役立たせなさい」というお言葉を頂いたからです。今は拠点校を中心に週に二日程度、また長期休業中はほぼ毎日、「剣道は、剣の理法による人間形成の道である」という精神のもと、人づくりを目指し、生徒と一緒に面をつけて指導しています。

楽しいセカンドステージ

朝霞班 村山 敦子

市内の教育支援センターの指導員を辞め二年前から地域のサークルで古地図を手に「江戸散策」や母校で「古文書」を学んでいる。たつぷりある物理的な時間とゆつたりできる心のゆとりで楽しく学んでいる。

また、九月に現役校長と退職校長が市教委の計らいで一堂に会することがあった。今後は学校運営協議会等を通して学校を支援することが話し合われた。少しでも学校の役に立てることがあればお手伝いしたいと思うこの頃である。

四年ぶり

蕨・戸田班 太田 有子

コロナ感染症蔓延防止のために

色々なことが制限される期間が終わり、四年ぶりに運動会を参観しました。秋空の下で全学年が整列する姿は懐かしく「やっとここまで戻ったか。」と感慨深いものでした。応援合戦では全学年の元気な声が校庭いっぱい響きます。そんな中でも装飾の簡略化・内容の見直し等以前とは違う運動会でした。ピンチはチャンスと言われます。この四年間をチャンスに学校がより良い学習の場所として変化して欲しいと願っています

本との出会い

川口班 白尾 由美子

近くの書店で、重松清の「めだか、太平洋を往け」と出会った。彼の作品は、家族をテーマとしたものが多いが、学校生活やいじめを描いたものもあり、五学年の教科書で紹介されてもいる。「とんび」「青い鳥」等、何冊か購入して読んでいたうちに、すっかり気に入ってしまいました。

あれから二年が過ぎ、中央図書館にある彼の作品は読み尽くしてしまつたので、次の本との出会いを楽しみしながら、今日も図書館に向かっている。



では、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的な推進に取り組んでいます。

一 コミュニティスクールの推進

学校課題の解決や、家庭や地域がそれぞれの立場で児童生徒の成長を支援する体制を整えるために、学校運営協議会や拡大大学校運営協議会（中学校区）での熟議を通して、学校・家庭・地域の連携・協働を推進しています。

二 学校を支える組織等との連携

P T A や保護者の会、学校応援団など、子供たちの学びや成長を支える活動を支援するとともに、学校に関わる地域の人々を対象にした研修会を実施しながら、人材の確保に努めています。

三 地域学校協働活動の推進

中学校区の公民館を拠点に地域学校協働本部を設置して、学校―地域間のコーディネーター役に、学校運営協議会委員を兼ねるコミュニティ・スクール・チーフディレクターを公民館に配置し、学校の要望や地域の願いを具体的な活動に結びつけていきます。令和四年度からの取組ですが、徐々に活動の幅を広げており、学校・地域共に笑顔の輪が広がってきています。

支部だより

◆教育推進協議会開催される

令和五年度現職・退職校長北足立南部支部教育推進協議会は十一月十六日(木)川口市立並木公民館に於いて、現職小・中学校長四十名、退職校長三十九名、来賓三名の参加を得て開催された。



開会に当たり、川口市教育委員会教育長井上清之様から、不登校の状況、部活動、外国籍の児童・生徒の増加等の説明

と、本教育推進協議会に対し、励ましの言葉と期待を寄せているとのご挨拶を頂いた。また、南部教育事務所長 阿部仁様からは、本年度の県教育局の方針や、定年延長・現下の教育情勢とその対策にも触れた御講話と挨拶を頂いた。



推進協議会は、現職校長会を代

表して草加市立花栗南小学校小林和美校長(資料作成)草加市立八幡北小学校春日和久校長、戸田市立美笹中学校渡部淳子校長、退職校長会代表朝霞班土屋賢治様より現下教育の諸課題について、実践に基づく貴重な発表があり、その後、質疑応答が行われ、県退職校長会幹事足助啓子様より丁寧な指導講評を頂いた。



本年度もコロナ感染症のため協議会終了後の恒例の懇親会は行われなかった。会食を通しての親睦を深める機会を設けられなかったのは残念であった。

なお、発表内容は「埼玉県退職校長会会報百八十号」に掲載される予定である。是非ご一読下さい。

(渡邊 秀人)

ご冥福をお祈りします

齋藤 力様(草加 4/6/12 九十五歳)

(12月10日現在)

班だより

◆朝霞班

本年度は新入会員十四名を迎え会員百二十四名でスタートした。

会員の親睦と連絡を図ることを目的に、事業を企画している。

◎定期総会

五月六日、朝霞市産業文化センターで開催した。懇親会は中止したが、自己紹介の時間を十分設けたことは好評であった。

◎会報発行

会員が自由に寄稿できる文集として、班四市の頭文字を組み合わせた『SWAN』第九号を十一月に刊



行した。総会に際して頂戴した会員の皆様の近況を掲載した。普段お会いできない方々の今が分かるという好評であった。写真は、委員による二日間にわたる編集・印刷・製本の作業の様子である。

◎検討している事項

▽総会出席者が少ない場合の議決の仕方▽緊急連絡網の連絡方法▽会報等の配付方法などについて

◎健康ハイキング

十一月十五日、「すみだ北斎美

術館」を中心に、紅葉が始まった墨田区両国エリアの主要な史跡・文化財を巡った。昼には、ちゃんこ鍋などを食べながら近況を語り合った。



写真は、回向院内の力塚前にて。

◎新年親睦懇親会

班の発展、新年が健康で良い年でありますようになどの願いを込めて、令和六年一月二十六日に予定している。

(柿崎 勲)

あとがき

北足立南部支部会報「かけはし」第六十五号に、ご多用の中、玉稿を賜りました各位に衷心から御礼申し上げます。

県退職校長会のホームページに「作品展のサイト」が開設されています。北足立南部支部では昨年に続き藤戸田班より「絵画」、朝霞班から「書」の応募をいただき、作品が紹介されています。

写真、絵画、書・篆刻、彫刻の部門にも、班のHP担当の方をおして、どうぞ積極的なご応募をお願いいたします。(加藤正明)